

好天に恵まれて 2,900人がセンターに来場



第22回菊間コミュニティ・福祉センターまつりが11月15・16日に開催されました。各サークルによる舞台発表・

作品の展示等、日頃の成果が発揮されていました。また、特別出演の菊間小学校による器楽演奏や演歌歌手の杉田淳さんを迎えて、会場は拍手と笑顔につつまれました。

模擬店

では、温かくておいしいと喜びの声が聞かれます。まつりスタッフの熱いパワーも感じられるほどでした。(まつり実行委員長 鶴岡)



☆休館・休室のお知らせ☆

| 日付 | 保健福祉センター | コミュニティセンター |
|---------------------|---------------------------|---------------------|
| 12/23(火) 天皇誕生日 | 浴室 大広間 プレイルーム 遊戯室など | 17:00以降は 利用できません |
| 12/29(月) ~1/3(土) | 年末年始休館日 | |

一歩散策

菊間の歴史 68

菊間通りをおゆみ野方面へ、茂原街道の手前を左に行き、三つ目の路地に、日にち什しゅう開山の鬼子母神を祀っている小さなお堂(写真)があります。



日什(1314~1392)は天台宗の僧侶であったが、67歳の時、日蓮の門下に入り、名を玄妙から日什に改名しました。68歳で京都に上り、妙満寺を建立しました。

境内の入口に石碑が建っていて、右側に柘榴さくろが植えられています。鬼子母神は釈迦に帰依した夜叉のひとりです。鬼子母神は500人(あるいは1,000人)の子を産んだといわれています。

性格が邪悪で、他人の子を奪って食べてしまうので、懲らしめるために釈迦が末子を隠してしまいました。すると嘆き悲しみ、愛児の行方を尋ねて釈迦の下に来ました。釈迦は500人のうちの一人を失っても悲しむのに、大切な子を奪われた人の親の胸中はどうかと諭しました。自分の非行を悔い、子を食べる代わりに、人間と似た味のする柘榴を食べることを誓い、仏教に帰依して子供の安産の守護神になりました。

NPO 法人設立総会が開催される

11月2日、NPO法人の設立に向け、総会が開催されました。設立申請に関する事項が、満場一致で承認されました。

広告主を募集します

平成27年度からセンターだよりで有料広告の掲載を始めます。掲載ご希望の方はお気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

問合せ ☎ 42-3424 飯村・石塚